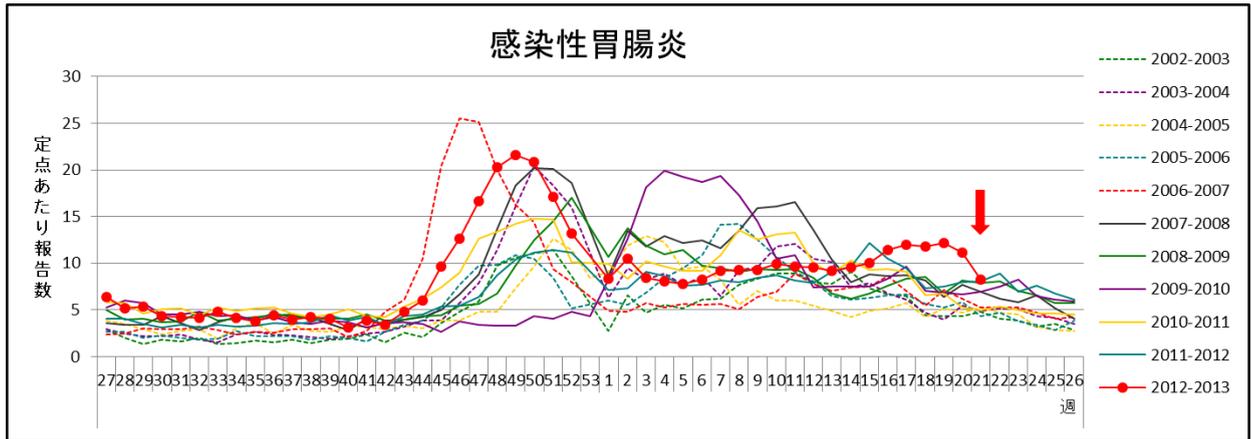


感染性胃腸炎情報 2013 年 第 21 週 (5 月 20 日 ~ 5 月 26 日)

- 岡山県内の患者報告数は 446 名（定点あたり 11.13 →8.26 人）であり、前週より減少しました。
- 感染性胃腸炎による学校等の臨時休業が浅口市の幼稚園 1 園でありました。（5 月 23 日）



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、446 名（定点あたり 11.13 →8.26 人）の報告があり（54 定点医療機関報告）、前週より減少しました。地域別では、備前地域（9.70 人）、備北地域（9.25 人）、岡山市（9.14 人）の順で定点あたり患者数が多くなっています。トイレの後や食事、調理の前には、特にしっかりと石けんと流水で手洗いを行う等、感染予防に努めてください。

年齢別では、0～2 歳が全体の 35%と、ひきつづきこの年齢層の割合が、高くなっています。

例年 3～5 月にかけては、ロタウイルスによる胃腸炎が、0～2 歳の乳幼児を中心に増加するとされています。ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれていますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

◆地域別・年齢別発生状況(定点あたり数)

